

## 事業報告書

| 令和7年度女性人材育成事業 ているる塾出前講座 in 石垣 |   |
|-------------------------------|---|
| 日時                            | 令和7年11月7日（金）12:30～16:45   |
| 目的                            | <p>啓発やスキルアップ講座等の受講機会に限られる離島地域に在住する自身のスキルアップを望む女性を対象として、様々なライフステージの中で自分の持てる能力を最大限発揮するため、論理的思考力、コミュニケーション力等を伸ばし、職場、家庭、地域それぞれの場所で活躍できる人材の育成をめざす。</p> <p>女性人材育成事業の1つとして「ているる塾」を令和元年度より開講しているが、開催場所は沖縄県男女共同参画センターているる（那覇市）であることから、遠方の自治体に在住する女性には受講が難しい状況にある。そのような受講機会に限られる地域においても、より多くの受講者が、自らが考える機会としてもらうべく、「ているる塾」を体験できる講座として、令和7年度 第7期ているる塾のプログラム内容からロジカルコミュニケーション講座を抜粋し、出前講座として提供することとする。（第6次沖縄県男女共同参画計画 DEIGO プラン 2-1-16）</p>  |
| 対象                            | スキルアップに関心のある女性  |
| 主催                            | 沖縄県・公益財団法人おきなわ女性財団  |
| 講師                            | 高田 朝子 氏（法政大学経営大学院 イノベーション・マネジメント研究科 教授）   |
| 開催場所                          | ユウグレナ石垣港離島ターミナル 会議室1・2  |
| 受講者数                          | 申込者：24名 参加者：22名   |
| 内容<br>(概要)                    | <p>① ロジカルコミュニケーション講座（12:30～15:45）</p> <p>講師は、日本の現状について、人口減少やダブルケアワーカー（介護・育児）、オールド・ボーイズ・ネットワーク（OBN）など様々な問題点を挙げ、その中で女性が活躍するには自信を持つことが大切だと述べ、自信を持つ為に能力を研ぐヒントを掴みましょうと講座を始めた。講座では4～5人ずつのグループに分かれ以下のワークを行った。</p> <p>【ワーク1 イメージマッチングワーク】</p> <p>自身に関するユニークな事実を書き出し、グループメンバーが観察・質問を行いながらその事実を予想する、というワークを行った。講師は、雑談をしながらも観察することで相手の情報を引き出すことがコミュニケーションのコツであり、同時に、自身が発信する場合も全身がコミュニケーションのツールとなることを述べた。また、自己評価と他者評価は異なる場合が多く、ほとんどの場合は、他者は自身が思うより良い評価をしてくれており、皆さんは自身が思うより小さな存在ではないと伝えた。</p> <p>【ワーク2 MECE仕分けゲーム】</p> <p>「うちなーんちゅ 38歳女性が、これから10年沖縄で働き続けるためには何が課題か」をテーマに、MECE＝“モレなく、ダブリなく”書き出すワークを行った。講師は、情報が多く溢れている現代、人間は見たい情報を見たい順に見る生き物なので“モレなく、ダブリなく”考えるには、チームとして複数人で考えることが非常に効果的だと述べた。また、コミュニケーションをする際には「同じ前提条件で話しているか」、「目指すゴールの方向が同じか」、「自分が分かっていることを相手も分かっていると思っていないか」といったことに留意しながら、お互いの認識のズレを補正し合うことの大切さや、ハッシュタグ運動＝会話のはじめに「〇〇の件」と言うことで、相手の会話予測に対して最初に情報を与えると良いことなどを伝えた。</p> |

|              |  |
|--------------|--|
|              | <p>さらに、人から話を聞いて貰えない話し方として「価値観の押し付け」、「抽象的すぎる」、「難しい言葉を使いたがる」といった例を挙げ、小学校5年生（10歳前後）が理解できるように、難しいことを優しく話すことこそ賢い話し方だと述べた。</p> <p>講座の最後には、これからキャリアを築いていく受講者に向けて次のようにエールを送りました。</p> <p>「私たちの人生は長いので、人生ずっと一本調子ということはほとんどなく、仕事などをセーブしないといけない時期は必ずあります。ですので、キャリアをチャプターで考え、うまく頑張れない時期があっても、頑張れる時期とトータルで見て同じ程度になっていけば良いのです。自分や家族の健康を捨ててでもやらないといけない仕事はありません。体を一番に考えてください。長いスパンで考えることで、焦らなくてもよくなります。ゆっくりでも能力は研げるし、リーダーシップも研げます。自分を幸せにしておかないと、周りを幸せにはできません。ぜひ自身が幸せだと思うキャリアの築き方・過ごし方をしてください。」</p> <p>② 参加者交流会（15:45～16:45）</p> <p>講座のあとには、参加者交流会を行った。当日は石垣市内より18名、竹富町内より4名が受講しており、近いエリアながらも普段あまり交流のない受講者同士の出会いから、お互いの所属団体や趣味サークルの活動に関する情報交換が行われ、今後の活動に参加する約束が交わされるなど、新たな交流が生まれていた。</p> |
| <p>参加者の声</p> | <p>（自由記載欄より抜粋）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアのある女性講師のお話を直接機会があつてとても刺激になりました。</li> <li>・講話の中にすごくたくさんの情報がちりばめられていて、また、自身が元気になれてとてもよかったです。</li> <li>・コミュニケーションが下手と感じているので、心してみたいと思いました。</li> <li>・「自分軸で生きる、考える」事、将来はAIではなく人との繋がりが重要になることを実感しました。</li> </ul>   |